

上総・安房地域の詳細な地誌を著わした国学者

とりうみすいしや はか

# 鳥海酔車の墓



鳥海酔車は江戸時代後期の寛政<sup>かんせい</sup>12年（1800）に長須賀<sup>ながすか</sup>の医者<sup>いしや</sup>の家に生まれた人物です。江戸の昌平<sup>しょうへい</sup>覺<sup>かく</sup>で国学<sup>こくがく</sup>を学び、また俳諧<sup>はいかい</sup>を修めて「酔車<sup>ごう</sup>」と号しました。酔車は全国各地の名所旧跡<sup>めいしょきゅうせき</sup>を訪ね歩き、特に上総・安房<sup>かずさ あわ</sup>を綿密<sup>めんみつ</sup>に踏査<sup>とうさ</sup>して、後に『房陽郡郷考<sup>ぼうようぐんごうこう</sup>』と『南総郡郷考<sup>なんそうぐんごうこう</sup>』を著わしました。地形から名所旧跡、町村別の領主<sup>りょうしゅ</sup>や石高<sup>こくだか</sup>などが詳しく記載<sup>きざい</sup>されています。晩年<sup>ばんねん</sup>は、私塾<sup>しじゆく</sup>で地元子弟<sup>してい</sup>の教育<sup>きよういく</sup>を行い、安政<sup>あんせい</sup>2年（1855）年に死去<sup>しゆく</sup>しました。

\*\*\*\*\*

市指定文化財：記念物（史跡）

指定年月日：昭和39年3月25日

所在地：木更津市長須賀1668（福寿寺境内）

所有者：個人

員数：1基

公開・非公開の別：公開

\*\*\*\*\*